

神奈川県西部地域総合都市交通体系調査
～調査の全体概要～

平成25年5月23日(木)

1. 策定の必要性

- 社会経済情勢の変化への対応

 - 〔資料5-2 社会経済情勢の変化〕

 - － 少子高齢化の進行、本格的な人口減少社会の到来及び地球環境問題の深刻化などに対応した新しい都市交通施策の推進が必要である。

- 近年における都市交通課題への対応

 - 〔資料5-3 近年における都市交通課題〕

 - － 近年の行政運営上の課題として、財源制約を考慮した効率化、アカウントビリティの向上、行政マネジメントなどが求められ、さらに政策上の課題として、TDM施策など既存ストックの有効活用が必要である。

- 県西部地域の一体的な対応

 - 〔資料5-4 総合都市交通体系の基本方針の方向性〕

 - － 策定時同様に県西部地域を一体の都市圏と捉え、広域的・総合的に集約型都市構造の観点からも検証し、より効果的・効率的な総合都市交通計画の策定が必要である。

2. 調査全体概要

■県西部地域の交通問題と課題の整理（第1回協議会）

- －上位計画・関連計画の整理
- －社会経済情勢の整理
- －交通実態把握

■将来像と需要予測

- －都市圏の将来都市像の把握・設定
- －交通需要推計

■総合都市交通体系の基本方針の検討

- －交通政策目標
- －施策体系
- －骨子案

（第2回協議会）

■総合都市交通体系マスタープランの策定（第3回協議会）

- －具体施策実施方針（整備方針）の策定
- －長期計画（概ね20年間）としての方針

■都市・地域総合交通戦略の策定（第4回協議会）

- －短期（概ね5年内）に実施すべきアクションプランの策定

神奈川県西部広域行政協議会

作業部会（道路・公共交通）

3. 調査全体スケジュール

